

タウンミーティングの実施状況について

1 今年度の実施状況

多様な市民の声をしっかりと聴き、対話を通して、ともにまちづくりを進めるため、タウンミーティングを毎月開催しています。

今年度は、子どもや若者、30～50代など、日ごろ行政に声を届ける機会の少ない世代を対象とするもの、市民からの希望に応えるもの、担当部署からの提案によるものなどをテーマに開催してきました。さらに、地域でも開催してほしい、との声を受け、本年1月から6つのエリアごとに実施しています。

回	テーマ	開催日	参加者	回	テーマ	開催日	参加者
1	障害者	5月31日	88人	7	にぎわい	10月19日	53人
2	子育て	6月29日	51人	8	これからの協働	11月16日	62人
3	高齢者	7月20日	56人	9	30・40・50代が語る 明石の未来	12月15日	42人
4	こども会議	8月18日	59人	10	地域編①明石エリア	1月20日	31人
5	若者会議	8月18日	49人	11	地域編②魚住エリア	2月18日	47人
6	環境 ～ごみ減量～	9月23日	53人	12	地域編③朝霧エリア	3月16日 予定	—

※11回までの延べ参加者数 591人

2 施策への反映

各回の意見を取りまとめ、市の取組について検討を行い、すぐに対応できるものは具体的な取組を行いました。今後取り組みを進めていくものは、令和6年度当初予算案において、主な取組として30項目を盛り込んでいます。

○ 今年度実施（主な例）

施策への反映	関連する参加者の声
<クールスポットの設置> 公共施設6カ所にクールスポットを設置	・いつでも立ち寄れる避難所があれば、猛暑の中、外出中に熱中症を防げるのでは ・猛暑での外出は命がけである。クーラーのある立ち寄れる場所が欲しい
<リサイクルBOX Taco箱の設置> 古紙回収専用のリサイクルBOXを明石市役所西庁舎に設置	・資源ごみ専用の回収ボックスを設置してはどうか ・資源ごみは月2・3回しか出せないため、可燃ごみに混ぜて捨ててしまいがち

○ 新年度予算案への反映（主な例）

	予算案への反映	関連する参加者の声
①	介護・障害分野の人材確保 ○ 人材確保・資格取得支援 ○ 福祉のしごと魅力発信 等	・福祉の分野は人手不足であり、福祉の魅力発信が重要 ・介護専門職の数が足りない。もっと増えるような市の取組を
②	病児・病後保育の拡充 ○ 病児保育施設の新規開設 ○ 予約手続オンライン化	・病気になると保育所に預けられない。 ・施設を増やしてほしい。手続が大変でハードルが高い
③	ごみの減量・再資源化の推進 ○ 家庭用生ごみ処理機の助成 ○ 生ごみ処理機の導入 等	・環境に優しい町にしたい!! ・生ごみ処理機・コンポストを各小学校区に設置しては
④	まちづくり組織への支援の充実 ○ 市民ファシリテーターの養成	・人が育つ地域づくり ・地域が開催するワークショップの支援をしてほしい

3 令和6年度を取組方針

(1) タウンミーティングの開催（予定）

地域編	4月20日：西明石エリア 5月：大久保エリア 6月：二見エリア
年代別	こども会議：小中学生対象、若者会議：高校生世代から20代対象

※そのほか、時機に適したテーマ設定やプログラム構成で毎月開催

(2) ファシリテーターの養成

① 市民ファシリテーターの養成

地域活動や市民活動など様々な場面で自主的な対話を通じた取組がさらに広がるよう、市民ファシリテーターを養成します。

【実施内容】

- ・養成講座の実施
- ・受講者が地域で企画するプログラム等への助言
- ・受講者への相談対応・フォローアップ など

② 職員向けファシリテーター養成研修

市政の様々な場面において、市民との対話を通じたまちづくりを進めることができるよう、市職員のファシリテーションスキル向上を図る研修を実施します。

(3) 産官学の共創による取組

これまでに地域課題として挙げられた「地域の居場所づくり」や「日常生活における移動の支援」などについて、産業界、公共機関、教育・研究機関などと連携して、産官学共創により取り組みを行います。